

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 森づくり課
 担当名: 木材利用推進・林業支援担当
 内線: 4325 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
B41	森林研究試験費			一般会計	農林水産業費	林業費	林業研究費	林業事務所費			
事業期間	平成28年度～	根拠法令	森林法、森林・林業基本法、林業種苗法			針路	10	豊かな自然と共生する社会の実現		SDGsゴール	2, 15
					分野施策	1001	みどりの保全と創出		SDGsターゲット	2-2, 15-1, 15-2	
1 事業概要 森林の適切な保全や循環利用の促進を図るため、新たな造林技術の開発などの試験研究を実施する。				5 事業説明							
ア 環境変化に対応した技術の開発 0千円				(1) 事業内容							
イ 埼玉ブランドとなる品種の育成と普及 0千円				ア 環境変化に対応した技術の開発 413千円							
ウ 省力・低コスト・高品質生産技術の開発 △176千円				イ 埼玉ブランドとなる品種の育成と普及 0千円							
エ 地域の特性を生かした技術開発と指導 0千円				ウ 省力・低コスト・高品質生産技術の開発 1,762千円							
オ 調査研究 △565千円				エ 地域の特性を生かした技術開発と指導 345千円							
				オ 調査研究 1,338千円							
2 事業主体及び負担区分 (団体10/10、県0) (県10/10)				(2) 事業計画(目標、達成水準、今後の計画等)							
				ア 環境変化に対応した技術の開発 1課題							
				イ 埼玉ブランドとなる品種の育成と普及 0課題							
				ウ 省力・低コスト・高品質生産技術の開発 2課題							
				エ 地域の特性を生かした技術開発と指導 1課題							
				オ 調査研究 4課題							
3 地方財政措置の状況 なし				(3) 事業効果 開発された新技術、新品種が普及されることにより、本県林業の発展を支える。							
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員人件費 9,500千円×10人=95,000千円				(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 独立行政法人、都道府県、大学、民間企業、林業関係団体や森林所有者と共同して研究開発を実施する。 また、林業関係団体、民間企業等から委託を受け、問題解決のための試験研究を行う。							
				(5) 補正予算の概要 ・試験研究受託事業収入の減少による減額 ・事務費の節減による減額							
予算額		財源内訳						一般財源		補正後の 予算額	
		繰入金		諸収入							
決定額	△741	△176	△370				△195		3,858		
現計額	4,599	316	1,570				2,713				

事業内訳書

事業名	森林研究試験費		
単位事業名	省力・低コスト・高品質生産技術の開発	予算額	△ 176千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△23	—	事務費の節減による減額 △23千円
需用費	△103	—	事務費の節減による減額 △103千円
役務費	△50	—	事務費の節減による減額 △50千円
合計	△176	—	

単位事業名	調査研究	予算額	△ 565千円
-------	------	-----	---------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△66	—	事務費の節減による減額 △30千円 試験研究受託事業収入の減少による減額 △36千円
需用費	△499	—	事務費の節減による減額 △165千円 試験研究受託事業収入の減少による減額 △334千円
合計	△565	—	